

第 6 回長南町小中一貫校設立委員会記録

1 日時 平成27年5月13日（水）15時30分～

2 場所 長南町保健センター（庁舎分館）2階第1会議室

3 出席者 委員：15／17名 教育委員会：4名

4 概要



（1）委嘱状交付

（2）教育長あいさつ

（3）委員長あいさつ

（4）委員自己紹介

（5）協議



【委員長】

本日の協議事項について事務局の説明を求める。



【事務局】

年度もかわり、新しい委員さんも加わったので、これまでの経緯から説明させていただいた。

●長南町立小学校の児童数の推移（スクリーンにグラフを投影して説明）

3年後の30年度には、複数の学校で複式学級が出現する。1つの教室の中に異学年の児童が一緒に学び、そこには先生が1人というような状況になる。これを避けるために長南中学校に小学校用の校舎を併設し、平成29年4月には小中一貫型の学校の開校をめざす。



●学校名について

千葉県内ですでに開校されている3校の小中一貫校を参考にして、話し合いが進められた。統合した小学校の校名について一貫校設立委員会で議論、町民の皆さんからも広く意見を聴く機会を設けた。校名案第1位が153通で、長南小学校という結果となった。総称案は第1位長南学園であった。今後、議会で長南町立小学校設置条例を改正し、校名が決定という流れになる。

●小学校校舎の建設について

尚武館の老朽化が進み、維持管理費が非常に増大している。解体して、その跡地に小学校の教室棟を建設する。

尚武館の取り壊しに伴い、中学校の体育授業と町の柔道教室の実施場所の確保が必要となる。そこで、当初町の体育館にジョイント式のマットを購入することとしたが、後に安全確保が困難との指摘もあり、児童生徒の安全を重視し、町体育館に柔道用の畳を購入し、設置することとした。尚武館に現在敷いてある畳は、非常災害時用に保管する。

29年度以降一貫校開校後、町の体育館は小学校が体育、部活動等で使用するため、畳は空いた小学校の体育館に移設し、町柔道教室で使えるようにする。尚武館の取り壊しは、本年度8月にはとりかかる予定である。それに伴い、町体育館はこれまでのように中学校の部活動で全面使用ということはできなくなる。また、29年度からは町の体育館は小学校の部活動にも使用されるので、中学校の部活動での使用はできなくなる。中学校においては、本年度より練習場所の工夫、これまでのローテーションの見直しを図ってもらいたい。

●基本構想

尚武館の跡地に3階建て以下で小学校の校舎建築を考えている。これを中学校の旧校舎と渡り廊下で結び、特別教室を共用する。また、町グラウンド、体育館に渡り廊下をのびし、小学校からスムーズに移動できるようにする。町のグラウンドは、小学校の体育、部活動で使用する。次に中学校の倉庫、トイレ、駐輪場の一部を撤去し、小学校用の遊具、学年園を設置したい。中学校のグラウンドは、中学校の体育、部活動で使用。中学校の体育館については、中学校の体育、部活動で使用するようになる。

●スクールバスの運行について

運行経路の検討を進めるにあたり、次の3点、「安全・安心」、「体力の保持・増進」、「経費」について確認した。また、4地区に分かれての検討から、全体へと移行していくという形態をとる予定である。

●今後のスケジュールについて

学校名が決まり、現在進行中の通学手段が決定し、校舎が建てば開校はできる。校名については、先ほどの説明通りである。校舎建築は、プロポーザルデザインビルド方式で進める。広く公募したのち、業者選定を行う。今後審査員の選出を行うが、設立委員から選出された場合は、協力をお願いしたい。また、審査員の選出は、専門家のアドバイスを基

に事務局で原案を作成することを、了承いただきたい。

バス経路決定後、時間があったら、校歌、校章、PTA、教育後援会についても意見をもらいたい。

●ここからが検討課題

前回提出してもらったスクールバス経路案を、スクリーンに投影し経路の確認をした。提出してもらった表を基に、先日現地にて調査を行った。

初めに、豊栄地区の経路である。①から⑥まで、それぞれの停留所候補地を回ってきた。①については、大変道幅も狭く、乗車についても待つ場所が少し不足しているので、厳しいかなということで△になっている。①から②の間が3.8キロで普通に走ると6分程度、そのように読み取っていただきたい。最後の⑥から学校までが3.2キロ、6分かかるといように表示している。また、豊栄地区については、④の後、大変道の狭い部分、またカーブが多く、路上駐車が大変多い道であった。この辺はバスの大きさによっては少々狭くて、危険かなというように感じる。乗降場所も細かく見てもらいたい。

次が長南地区のものである。①利根里からスタートして、⑥蔵持青年館、最後に学校までが3.2キロ、6分ということで見えていただくようになる。こちらも同様に乗車のところに○や×、△がある。これは乗降場所として、適か不適かということ判断をしたマークになる。場所によっては、少し先まで行くとスペースが確保できる場所もあった。

次が東地区である。ライスセンターからスタートして、給田の交差点を左折して、小生田でUターンをする経路で提出してもらった。Uターンが入ると、運行距離や児童の乗車時間がどうしても長くなる。もし可能であれば、経路変更等も含め、再検討いただきたい。

次に西地区であるが、「つづく」という表記がある。これは①からスタートして、次のページの⑨茗荷沢まで続いている。実は西地区については、1案と2案ということで、先ほどの西地区の案の頭に、この「笠森」等、3つが加わり、その後は1案に続く経路を考えてもらった。それぞれご覧いただきたい。



全体的に気になる点を、まとめさせてもらった。まず1点目、安全な待機、乗降場所が確保できない停留所については、再検討の必要があるかと思う。2点目は、経路の重複が見られる。各地区で考えてもらったが、同じ経路を通って同じ停留所停まりというところが存在するので、重複を解消すること。それから先ほどのUターン、道幅の狭いところは、4地区を超えての経路検討の必要があるかと考えている。次に乗車人数は、極力減らしたいという考えをもっている。つまりは、徒歩通学の子もたちとバス通学の境界線を

設けて、徒歩の通学の子どもたちを人数的になるべく増やしていきたいと考える。次にバスの確保を考える。1台あたり、ざっと70人程度と考えた。すると、バスは3台必要である。業者委託になるのか、またバスを購入するのか、この点については、これから町長部局とも話を進めていくが、この辺を踏まえての再検討ということでお願いしたい。

なお、スクールバスについて、今後検討してもらうわけだが、今後の予定を示させてもらいたい。次回第7回になるが、そちらで再度経路・停留所の検討、第8回には、経路・停留所の仮決定をしたい。そして、第9回には現地の見学会ということで、バスを借りて実際の経路を走ってみたい。そして第10回には最終調整をはかり、最終的に2月から3月までには、住民の説明会と考えている。よろしくお願いしたい。

【委員長】

事務局から、バスの運行経路で、停留所の重複や気がかりなところについて、詳細な説明を求める。

【事務局】

配布の資料の写真を参考に確認させてもらう。

【委員】

これは、いくら口で言っても分からない。だから、11月に現地見学とあるが、その前にバスを使用し、現地を見ないとここでいくら説明されても分からないと思う。

【委員長】

説明の不足部分を先に補足を求める。

【事務局】

《以降、各地区経路案の現地調査において「気になった点」について説明し、課題を明らかにした。》

豊栄地区から順に進めていきたい。①岩川については、路側帯のみで、引っ込んだ部分がこの先のところに少しあるが、大変道幅が狭く、おそらくバスがここに停まってしまうと、道いっぱいですれ違うことも困難というような状況であるので、乗車箇所△とした。①から②への経路であるが、3.8キロ、6分。この間については、特に問題はなかったが、②については、施設であり、当然乗降場所としてお借りするようになれば、お願いにあがらないといけない。この施設の駐車場は大変広いが、もし、その施設利用者の車の出入りと、施設にお勤めの方の車の出入りの邪魔になっていけなないので、もしかすると、乗降は難しいのかなということも含みおきいただきたい。③までの間は3キロ、5分

であった。③千田は乗車×とした。青年館の部分は、待つ場所がない。完全に路側帯のすぐ脇にドブ板というような感じで、大変狭い。十分道幅はあるが、待つ場所の確保ができればなんとかかなるかと考える。向かい側は青年館があるので、その駐車場が割と広くとれるようなスペースがあった。次に④又富になるが、③から④にかけては1キロ、2分であった。④については、大変道幅が狭くて、乗降が難しい。この先はさらに狭くなっていて、カーブも多く、左の路肩に軽トラックがいっぱい停まっている状態だった。実際にバスが運行するとなると、無理かなと感じた。次に笠森の方に進むが、ここに関しては、乗降場所として十分に広いスペースがとれていた。それで⑤笠森から⑥蔵持については2キロ、4分。交差点が近いということがあり、乗降場所としては、ちょっと不適かなと感じた。少し手前のスペースで待たせておいて、バスが来たら先の部分にバスを停めてもらって、少し先の場所で乗るという手を使えば、なんとか問題なくいけるのかなと思う。この笠森から蔵持の部分は、重複があった。この後に出てくる長南地区の蔵持と重複があり、西地区の第2案でも蔵持の十字路が出てくるので、ここがうまく経路を組めたなら、一度で済むのかなという気がする。

次に長南地区である。①利根里からスタートする。利根里の部分は左側に歩道が広く確保されているので、十分安全に乗降場所の確保ができる。待つ場所としても問題ないと判断する。①から②大橋が0.6キロ、1分。しかし、この利根里は学校に近いので、実際にここにバス停が必要なのかなとも思う。0.6キロ、1分で、すぐに大橋に到着した。この大橋は、見た目より狭いところである。車も割と抜けてくるが、左側は路側帯もまともに確保されておらず、ガードレールがある。待つ位置の確保という意味では、全くない。反対車線に少し道があり、そこなら乗降可能かなと思うが、この進行方向だと厳しいと判断した。②から③小金は1.2キロ、2分の場所である。③は、すぐ左側に田んぼが広がっており、ここも路側帯が大変狭い。ガードレールもなく、いきなり路肩で落ちてしまいそうな感じ。少し先に行くと、建物が確認できるが、そこにスペースがあった。そこで待たせてもらえるようなら、乗降可能かと判断する。その先は、④セブンイレブンまで、ここが1.6キロ、3分の距離であった。セブンイレブンの駐車場には頻繁に車が入り出るので、乗降場所としてはちょっと不適かという気持ちもある。また、駐車場については商店の駐車場をバスが突っ切るわけにはいかないもので、すぐのところが鋭角になっているが、ここをバスが大きく回って左寄せで乗せるというような形になろうかなと思う。④から⑤深沢は2.6キロ、5分であった。次の乗車△とした。ここも、大変狭いカーブのところ、見通しが非常に悪いところであった。ここも乗車△とした。左側に待つスペースはあるが、ちょっと車の通りが激しいなということを感じる。⑤から⑥蔵持が1.2キロ、2分である。⑥が先ほども出てきた蔵持。手前の青年館のところ待たせてもらって、少し先の交差点から外れたところにバスを停めての乗降だったら可能かなと思う。この⑥蔵持から新しくできる学校までは3.2キロ、6分であった。

次は、東地区。一つ問題のところが芝原ライスセンタースタートということになってい

るが、ライスセンター自体は実際にバスが停められるようなスペースはない。すぐ先に消防機庫があり、その周辺には少々スペースがあった。ただ、このスペースが使用中の場合、乗降不可となってしまうだろう。この乗降場所くらいしかこの辺りに停められるスペースはなさそうであった。ただ、こちら（学校）から行くと、おそらくこの芝原で方向転換をしないといけないが、バックするとなると、どうだろう。少々問題ありではないか。待つ場所としては、大丈夫である。①から②東小の間は2.1キロ、4分。東小のすぐ先の部分については、広くスペースも確保でき、乗降場所としては適と判断した。また、東小から小生田に向かい、②から③小生田は2.8キロ、5分。乗車は×とした。道幅は大変広いが、左側は狭い路側帯にガードレールがあり、待つ場所としては不適である。右側に商店があるが、ここが小生田上の停留所前となる。この先200メートルほど進むと、左側にスペースがある。ここまで行けば、乗降が可能であるし、おそらく計画をいただいた東地区担当の方々のUターンの場所は、ここかなと思った。ここだったらバスがぐるっと回せるのではないかといいくらい大きなスペースであった。青年館のようなものがあり、ごみの集積所もあり、地区の持ち物ではないかと思われる。可能であると思われるが、極力このUターンをせずに済むのならありがたい。③から④農協倉庫である。Uターン後になるが、小生田からまた給田に向かって上っていく道になる。2.6キロ、4分。給田交差点から左折してすぐの左側に倉庫があるが、そのスペースなら、乗降可能であろうかと思う。次に④から⑤中原が1.4キロ、2分。⑤については、消防機庫で、十分待てる場所はある。乗降場所としては適と判断した。中原から統合校までが2.6キロ、4分の道のりとなる。

最後に西地区、①水沼からであるが、進行方向左側は車が停められるような場所はない。路側帯も狭く、待つ場所としては不適である。ただ、右側に消防機庫のスペースがあり、ここにバスが入れば、左側から乗ってもなんとかなるかなということで一応乗車○とした。この①から②山内までが1キロ、1分。山内も左側に少々スペースがあったので、バスを寄せて乗降可能であろうと判断した。②から③三川にかけては1キロ、1分の道のりであった。③の部分は左側に少し入っていくような小道があり、このところで乗降が可能であろうと考えた。次に④トーヨーカントリーの入り口部分になる。進行方向右側、トーヨーカントリーに上っていく道の反対車線で、歩道はあるが、停車には道幅が狭く厳しい。トーヨーカントリー入り口手前50メートル右側にごみの集積所と、ある程度スペースが確保できるところがあった。③から④にかけては1.7キロ、3分の道のりであった。次に⑤市野々に進めていくが、④から⑤2.2キロ、5分の道のり。左側に路線バスの転回場と、路線バスを待つ方のための小屋があるが、ここの部分で十分乗降可能と判断。⑤から⑥熊野にかけてのところだが、2.2キロ、5分。熊野の交差点のところ、路線バス停留所のすぐ先である。車の通りが多く、カーブがきつく見通しのあまりよくないところでの乗降となる。左側はガードレールが迫っており、とても待つような場所はない。ここはちょっと子どもを待たせるのは危険かなと判断した。そこで、熊野の清水の駐

車場はどうか。駐車場なら問題なく待てるかなと考えた。次に西小学校前の道へと進んでいく。⑥から⑦西小が1.6キロ、3分の道のり。西小は、左側に歩道はあるが、車の通りが結構ある。ここはバスを止められるのかと心配。反対車線は商店で、多少のスペースはあった。⑦から⑧西郵便局は1.1キロ、2分の道のりであった。西郵便局のT字路は結構車が通っていた。乗降場所としてはちょっと不適である。無理にでも乗せるのであれば、西郵便局の交差点を突っ切ってしまい、少し先の左側に引っ込んだところがあるので、そこで子どもたちを待たせて乗降させるくらいしかスペースは確保できず△にした。⑧郵便局から⑨茗荷沢に向けての道は1キロ、2分。茗荷沢の交差点の辺りは結構車が通るので、乗降場所もバスを停めるようなスペースもない。交差点から200メートルほど走らせた左側にちょっとしたスペースがあった。そこなら乗降可能であると判断した。ただ、茗荷沢から学校までは1.4キロ、3分の道のりであった。これが、第1案。続いて第2案は、①笠森②蔵持が、西の1案の頭にくっつく。笠森から蔵持までということは、豊栄地区の⑤⑥、長南地区の⑥であるとか、重複する部分があったので、その点については、解消できるように地区を超えての検討を進めていただきたい。笠森については先ほどと同様に駐車は可能である。蔵持であるが、スペース的には厳しいなと感じた。以上。

これまでの4地区に分かれての検討から、今後は全体協議へと移行していきたい。

※ 第3回設立委員会より継続して検討中の「スクールバス経路等（案）」について、ここで明示することにより、あたかも決定事項であるかのように捉えられることが懸念されます。あくまでも途中経過であることをご理解の上、今後の経過を見守っていただきますようお願い申し上げます。

【委員長】

各地区で委員さんに個別に経路を回ってもらい、案を出してもらったわけだが、具体的に乗降場所をピンポイントでここがいいというところまで煮詰めていないと思う。それと運行経路で笠森等が重複しているが、長南地区での児童を他の地区の運行バスにらせてもらうとどうなるかということで、案をそれぞれ出してもらった。そこを4地区でどうするかとはまだ煮詰めていないところである。まっさらな目で事務局に歩いてもらって、非常に良い指摘をもらったと思う。委員の皆さんから今の事務局の説明に対して何か質問があれば、お願いしたい。

【委員】

長南小学校統合校のバスの駐車場や乗車はどこを考えているか。

【事務局】

基本的にはB&Gの駐車場しかないだろう。そこが乗降場所と考えている。

【委員】

今の説明では、100回説明しても分からない。見に行った方がいい。雨の日や雪の日のことを全然考えていない。あと帰りのことを全く考えていない。行きと帰りの乗降は違うと思う。安全面から見ても。

【委員】

廻った内容で大体○△は合っている。△のところが、一般のバスと同じように駐車時間は子どもたちが来るまで待っているのか、それとも短時間なのか。短時間であれば、△でも十分いけるかなという感じ。もう一つは、小生田地区Uターンがあるが、それを一直線で市野々の方まで行ってしまうというのも考えられないかと思う。それはこれからだと思うが、小中一貫、完全に一緒にするわけなので、西地区東地区関係なくいけるかと思う。西が蔵持を回ると、バスが乗り切れるのかというのも検討事項だと思う。

【事務局】

バスの待ち時間については、短時間と言われても、バスの運行状況は、天気にもよるし、結構待つような日もあれば、時間通りということもあるだろう。ある程度居ても大丈夫かという観点で、「適・不適」と判断した。大人のように路肩でも立って待っていらればいいが、それは小学生には無理だと思うので、ある程度スペースがあって、完全に安全確保ができる場合のみ○と示した。

地区を越えてという部分であるが、基本的に地区は関係ない。Uターンはせず、そのまま西に突き抜けていくという方法ももちろんあるだろう。そのまわり方も考えたい。乗れるのかというのは、これから人数を「このバス停でおそらくこのくらいの乗車数がある。」、ということを示すので、その中で多少の経路変更もあろうかと思うが、おおまかに3台はバスが必要になると計算をしている。4地区あるが、3系統で済むとありがたい。人数調整をしながら考えていきたい。経路は一筆書きでいけるような経路をイメージしている。人数調整は経路を多少変更する中で可能かと考えている。

【委員長】

他に質問はあるか。

なければ、先ほどから〇〇委員さんから提案されているが、今後のスケジュールだと、見学会が11月予定となっているが、もっと早めたらどうかという意見である。皆さんいかがか。ここまで皆さん頭に入っているので、私も現地にみんなで行って乗り降りしてみたら分かりやすいのではないかという気がする。

【委員】

賛成。

【委員長】

女性の皆さんはどうですか。あえていうのはおかしいですが。

【委員】

私も賛成。一回見てみた方がいい。

【委員長】

だいたい皆さん去年から検討されていて、何回も場所を見てきているので、経路については頭の中に入っていると思うが、実際に乗り降りしてみて時間や乗る子どもさんが何人かを考えながら現地を見てみたい。どうか。

【事務局】

検討したい。

【委員長】

〇〇委員さん、どう感じられますか。

【委員】

説明のとおりでイメージが同じになった。



【委員長】

それで4地区に分かれてそれぞれバスを出してもらうということもあるが、いっぺんに皆1台のバスに乗って大勢の目で見える方が良いかなと思うが、〇〇委員どうか。

【委員】

それはやはり全員全部の地区から出ているわけではないので、全部の通学路を回って一日かけてもいいと思う。それで雪や雨の日はどうするのか、子どもたちをそこで待たせるのか、ここは危ないよとか。とにかく安全が第一だから、例え2分3分待たせても危ないよとか、安全を確保できるのかが私は知りたい。

【委員長】

皆さんそういうことで事務局にお願いしようと思うが、いいか。早めに一回バスに乗って廻ってみる。長南地域がどうなっているのか分かりやすい。一回で終わらないと思うの

で、一回早めに回ってみて、予定では11月となっているが、それも場合によっては最終的なチェックということで回ってもいいのではないかなと思う。皆さん忙しいか。

【委員】

暇だと言ったら怒られてしまう。忙しい。でも時間はつくる。

【委員長】

一度早めに現地調査を皆で回って、気になるところは各地区で相談しながら回ってもらいたい。そのようにさせてもらえれば、ありがたい。

【事務局】

意見も多いし、見てもらうということは大切だと思うので、実現に向けて調整をさせてもらう。

【委員長】

他に何か質問はあるか。

【委員】

協議事項で出ていた徒歩通学とバス通学の境界線だが、前にいただいた資料で2キロ以内は徒歩通学がいいのではとなっていたが、今回のバス経路に出てくる2キロ未満のバス停もあるようなので、そこも検討事項になるのではないかなと思う。

【委員】

2キロ未満だけど人家がまったくないとかそういう部分は、少し検討してほしいと思う。

【事務局】

はい。1人登校となってしまうのは問題であると思うので。

【委員長】

色々あったが、検討段階の中で個人的に言わせてもらう。長南地区の利根里から小学校まで路線バスを使っている20数人だが。その後もいくつかバス停があるが、そこで7、8人乗れば、長南地区は路線バスで小湊バスの車庫までは来られる。最終地点の新小学校が停留所になるが、そこまで路線バスをのばしてくれればいいと思う。そういう話を交えながらやってきた経緯がある。しかし今回から、それは別途に考えるということで、スクールバスのみ使ったの登下校と、また他にクラブ活動をやった場合はどうするのか等ある

が、さしあたってその基本路線でまだ進んでいきたいと思う。皆さん意見はあるか。

【委員】

去年までの経緯が分からないので、質問するが、ここで話し合っていることを立場上、会合とかで話をするような機会も出てきてしまうが、どの部分は話をしていいのか。例えば地区に詳しい人に聞くような場合もあると思う。このように進んでいますよと話しているのか。まだ言ってはいけないことも存在すると思うが、どうか。

【委員長】

事務局の方から話してもらう前に委員長として話させてもらおうと、校名についてはアンケートの結果具体的にこうなると、設立委員会ではこういう方向でというのは、すでに町全体に流れている。その部分については、結果こうだったというところは話してもいいと思う。決めつけられてしまうと誤解があるので困る。それとその他の運行経路についても、こういう案があって検討しているというのは委員長の立場としてはいいのではと思うが、一度流れてしまうと、決まってしまったと受け取る人が沢山いる。それに対してまとまりのない意見とか、収集つかないこともある。その辺について事務局はどう考えているか。

【事務局】

本委員会で話し合われた内容や、示している資料等については、HPでも開示をしている。そのレベルであればというように判断していただけたら一番良いと思われる。委員長もおっしゃったとおり、勘違いされてしまう恐れはあるだろう。決定事項ではないので、あまり委員の方の口からというのは勘弁いただけたらと思う。

【委員】

HPに載っているものは良いということか。心配なのは、経路だとかはこのように検討しているということであっても、自分の子どもだとか知っている子どもが非常に遠いと、なんでこっちに回してくれないのか、という人が個人的には出てきやすくなる可能性があると思う。できれば客観的にこのように話し合いが進んでいる状態なので、自分の方へ自分の方へとなくなってしまうと話が複雑になる。地区を超えてなんとかしたいと考えが進んでいるので、やたらに出せないなと思った。

【委員】

住民からの意見があり、内容は学校の教育方針について。教育方針の内容について委員会で話し合われるのではと言われたが、我々がやっているものと違うと話した。委員会は統合小学校の施設の管理・運営について与えられたテーマについて協議し、そこで決定で

もないという話もしておいた。委員会からお話していいものはHPに網羅されていると話した。だから教育方針については学校や教育委員会がどうするのか考えることだと思うので、そういう質問が先生方にいくかもしれないが、委員会ではそのようなものを決めるところではないと話した。

【委員】

私のところにもあった。同じ程度にしか話さなかった。

【委員】

教育方針や教育課程などは学校が決めることということでよろしくお願いしたい。

【委員】

たいした質問ではないが、バスを待っているときに、時間が決まっていると思うが、もし遅れた場合はずっと待っていてくれるのか。

【事務局】

待つことは無理である。

【委員】

では、バスが行ってしまったとかは、子どもたちはどこで判断するのか。

【事務局】

その辺も検討課題となるが、基本的に路線バスと同様で、時間割を作って何分停車とか、それはきちんとしていかないと全部に影響するので……。遅れちゃったからどうするというのは、これからの検討課題ということで、申し訳ないが、ここで即答はできかねる。

【委員長】

今長南小は似たことをやっている。ただ、長南全体に広がると色々問題があると思う。最終的にまとめもあるので、色々気が付いたことを意見してほしい。独り歩きするのだけは避けたいと思う。次回はどうするか。

【事務局】

先ほどご意見頂戴したようにバスということになるので、そちらの予定を確認してからとなる。

【委員長】

7月か。

【事務局】

予定としては7月。

【委員】

その前に一回やった方が良くはないか。

【委員長】

検討願う。

よろしいか。貴重なご意見、感謝する。今後ともよろしくお願いしたい。